

Jsurp まちづくり カレッジ

移住/半移住 ～今、地方・地域で働くことの可能性～

- 第1回 10/15(金) 東川町の適疎なまちづくりと可能性
 第2回 10/27(水) 世界が憧れるまち“小田原”
 第3回 11/2(火) ローカルシフト時代の佐久市のまちづくり ～試住・移住支援から地域複業創出まで
 第4回 11/18(木) 移住者が発見する地域の面白さ ～地域おこし協力隊から見た焼津市～
 第5回 12/2(木) 糸島の定住促進『今、糸島で働き、住むことの可能性』

各回 19:30～21:00(オンライン、任意参加のアフタートークあり)
 全5回 一般10,000円/会員7,500円/学生5,000円

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、都市における人々の暮らし、働き方に対する意識が変化するなか、安全・安心で持続性の高いワーク・ライフスタイルを求め、地方都市に目を向けた移住意識が芽生えつつあります。また、移住に限らず、テレワークやダブルローカル等、地方都市との関わりを深めながらウィズコロナ時代の新しいワーク・ライフスタイルを志向する都市居住者も増えつつあります。

こうした動向を踏まえ、地方都市では様々な取組を実践し、移住・半移住を支える個人、企業、自治体等の動きが活発化しつつあります。本プログラムは、こうした実践者による活動内容の共有から、都市における新たなワーク・ライフスタイルを生み出す可能性について探る場にしたいと思えます。

プロデュース



近藤 洋介
株式会社ノーザンクロス



小林 真幸
株式会社KRC

講師



第1回:10/15

菊地 伸/東川町産業振興課

1967年東川町生まれ。大学卒業後、民間勤務を経て1992年東川町役場入庁。多岐に亘る分野に携わり、交流促進課長、企画総務課長、東川スタイル課長を経て、2021年より現職。公務のほか、大学時代からの音楽活動経験を生かし、有志で「東川イベントサポートクラブ」を設立、事務局長として各種イベント企画運営及び支援に携わる。



第2回:10/27

守屋 輝彦/小田原市

1966年小田原市生まれ。東京大学大学院修了(都市工学専攻)。1992年に神奈川県入庁、2011年神奈川県議会議員選挙にて初当選、2015年2期目に再選。2020年5月小田原市長選挙にて初当選。



第3回:11/2

柳澤 拓道/地域プロデューサー

1985年東京都生まれ。東京大学文学部卒業。政策研究大学院大学修了。UR都市機構に入社後、13年目に自主退職して佐久市に移住。コワーキングスペース「ワークテラス佐久」、地域複業プラットフォーム「YOBOZE!」を運営。



第3回:11/2

早藤 優樹/株オズマピーアール

企業や自治体など幅広いプロジェクトに多く参画。コンテンツを活用したPRプロモーションやイベント、企業の新規事業開発などで、PRアクティベーションを担当。さまざまな関係者や団体を巻き込んだブランニングの設計・実行力が強み。



第4回:11/18

三浦 愛/CLARI MARE

1987年生まれ。埼玉県出身。日本大学生物資源科学部、同大学院修士課程修了後、釣具販売店(株)イシグロに就職。1年間のイタリア留学を経て焼津市の地域おこし協力隊として観光交流課に委嘱。隊任期後CLARI MARE設立。しずおか海のPR大使。



第5回:12/2

西 正文/糸島市ブランド・学研都市推進課 定住・学研都市係

2018年度から糸島市への移住・定住の促進業務を担当。首都圏・福岡市西部の子育て世代をメインターゲットとして、移住イベント、移住相談、空き家バンクなどを運営し、移住検討者のサポートや受け皿となる空き家の流通促進に取り組んでいる。



第5回:12/2

中島 潤一/糸島市商工観光課 商工労働係

2020年度から糸島市の商工振興業務を担当。中小企業振興基本条例の下、商工会やまちづくり会社などと連携しながら、創業や中小企業者の経営基盤の強化を支援している。



第5回:12/2

大堂 良太/合同会社よかごつ

1982年熊本県生まれ。九州大学修士課程修了後、丸紅(株)に約10年勤務。2017年に糸島に移住。地域交流型学生寮を開寮。その他遊休施設を利活用し、カフェ、シェアオフィス、ブックマンション等を運営。イキイキできるコミュニティ作りが活動の軸。

詳細・申込

「Peatix」で「まちづくりカレッジ」と検索下さい！

申込締切：2021年10月13日、定員60名程度

